

内部牽制体制を強化

北信州 森林組合 県内組合3人目の監査士

昨年12月、全国森林組合連合会で行われた森林組合監査士試験に、北信州森林組合会計主任の丸山久美子さんが合格した。県内18森林組合で3人目。

森林組合監査士は、森林組合法で森林組合連合会の業務として定められた。会員（森林組合）の監査を行う者として、連合会の定款で定められたもの。具体的には組合及び連合会の業務及び会計について監査を行う。

北信州森林組合では平成23年4月、新たな中期目標として掲げた。また、組合運営では支所を総務課の所轄として組合員の窓口にて職員は本所に集約した。現場体制も業務課の下で林産班・造林班に2分して直接管理し、ライブカメラで毎日出勤を管理している。そして、今回、丸山さんの監査士合格で



森林組合監査士の試験に合格した丸山さん

飯山警察署と「コース外滑走は危険」を広報

飯山警察署は6日、スキー場におけるコース外滑走の危険を広報して



走の危険を広報して

ス外滑走による遭難事故防止のため、野沢温泉スキー場と協働でパトロール及び注意喚起ポスター掲出の取り組みを始めた。同スキー場によると今シーズンに入って

内部牽制体制が強化された。3度目の挑戦でみごと監査士に合格した丸山さんは、土・日曜日に集中して受験勉強。ほぼ1日、過去の例題集などを取り組んだ。試験科目は監査（監査

理論・監査実務）、会計学、簿記、法規、森林組合論の5科目。このうち森林組合論が苦手で、全体像の把握や、各部署の業務を見ることで克服することができたという。大北森林組合による

森林整備関連の県補助金不正受給問題で露呈した不可視体質、県のずさんな監査体制が、林業行政に不信を育てる中で、自ら内部牽制体制を強化する北信州森林組合の取り組みが注視されている。

みよう・援農支援・男の料理教室（など）のほか、運動会や研修旅行（など）、66時間に及ぶ学びに老春を燃やしてきた。

豊かな人間性形成を

シニア北信 2年の学びに別れ惜しんで

平成26年度長野県シニア大学北信学部の卒業式は6日、県飯山庁舎で行われ、須坂市以北6市町村を中心とする

卒業生は79歳を最高

る男性14人、女性28人の合わせて42人が、2年間の学びに別れを惜しんだ。

卒業生は79歳を最高

例」を施行。その中でスキーヤーに、スキー場区域外において発生した事故により捜索救助を受けた場合は、その費用を弁償しなければならない」と規定している。

この事態を受け今回、飯山警察署との協働でコース外滑走禁止を広く呼びかけるため、長坂ゴンドラの全ての機内、チケット売り場、ゴンドラ駅内に注意喚起ポスターを掲出▽ス

山頂やまびこ駅付近で行われた広報活動には、菅沢国彦署長や片桐幹雄社長などが参加し、ゴンドラから下りてコースに滑り出すスキー・ボード客らに注意を促した。また、飯山警察署員が英語で外国人客にコース外滑走禁止を呼びかけた。

片桐さんは「スキー

「法遵守」窓口表示板で訴え

長野県と県行政書士会（山崎隆二会長）は先月末、県内各市町村に対し、法の遵守と行政書士制度の一層の理解を得るための、窓口表示板の設置を申し入れた。

その後菅沢署長らはスキーで危険箇所を見て回り、安全対策をエックした。

他の法律で定めのある場合を除き、行政書士でない者が官公署に提出する書類の作成を、

深い雪に熟成託して

代理業務としてとは違法だが、この違法行為が起きているという。窓口表示板は書士でない者が官公署に提出する書類の作成を、

共通の目標に向か席を同じくしとがある。時代への対応し、自分を

